

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	むろやま るみこ 室山 留美子
(研究テーマ名) 魏晋南北朝における都市性・地域性と氏族社会	
(研究活動実績) 【学会発表】 「北魏における上谷寇氏の氏族的位置について」 『日本道教学会第六十四回大会』(2013 年 11 月 9 日、於早稲田大学小野記念講堂) 【論文】 「五胡十六国北魏の上谷寇氏」(『東方宗教』第 123 号、2014 年 5 月掲載予定) 【現地調査】 1. 2013 年 8 月 29 日～9 月 3 日。河北省～河南省における石刻史料・現地調査・現地研究者交流 (平成 25 年度科学研究費「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の基本問題の再検討」基盤研究 A ; 研究協力者) 2. 2013 年 12 月 21 日～27 日、四川省成都～陝西省西安、都城圏現地調査・現地研究者交流 (平成 25 年度科学研究費「魏晋南北朝時期主要都城の「都城圏」社会に関する地域史的研究」基盤研究 B ; 研究分担者) 【その他】 1. 魏晋南北朝石刻史料デジタル化作業 (平成 25 年度科学研究費「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の基本問題の再検討」基盤研究 A ; 研究協力者) 2. 魏晋南北朝国際シンポジウム『歴史のなかの都城の作用』2013 年 9 月 15 日於東京大学、総合司会 (平成 25 年度科学研究費「魏晋南北朝時期主要都城の「都城圏」社会に関する地域史的研究」基盤研究 B ; 研究分担者) 本年度は地域と氏族との関係から、ある地方に本拠地をもつ氏族が、魏晋南北朝の混乱期にどのような様相で存在していたのか、各政権は彼らや流民をどのように取り込み都市に定住させたのか、ということ明らかにするために、五胡十六国北朝時期の上谷寇氏を取り上げた。だが当該時期の上谷寇氏については史料が甚だ僅少であり、その実態は明らかでない。だが道教研究においては北魏寇謙之の一族としてその存在が注目されているため、宗教面からも考察を試みた。また本研究においても利用した出土石刻史料は、今後の中国歴史研究において重要な史資料であるため、各研究者の今後の利便のために、昨年度に引き続きデジタル化作業を進めた。そのほか現地調査として、河北省・河南省・四川省・陝西省を中心に、都城遺跡や景観調査・新史料採録および情報収集を行った。	